

10月号 ラビット通信

こんにちは、寒暖の差が激しい今日この頃ですが いかがお過ごしでしょうか。気温差による体調の変化に気を付けてくださいませ。

長引くマスク生活で、耳穴補聴器に関する質問が多く聞かれます。そこで補聴器の違いについてお話をしましょう。補聴器の形状、耳穴、耳掛けの大きく分けて2種類があります。それぞれの利点があります。


【耳掛け式】

- 耳の中に入れる機械が少ないので響きにくい。
- スピーカー（耳中）とアンプ・マイク（耳外）で分離している為、故障時に対応が効く。例えば「スピーカーのみの交換で済む」
- 耳の中でしっかりと入る上に、耳に掛けているので安心感がある。

【耳穴式】

- マスクに引っ掛からない。眼鏡などにぶつからない。
- 耳に装着するのが楽。細かい手の動きが少ない分、扱いが楽。
- （自分の耳と同じ位置にマイクがある為、電話の受話が容易い。

他に、【骨伝導補聴器】聾に近いほとんど聞こえない人には骨に響かせて聞いてもらいますが、食事時などにも骨に響くため一般的ではありません。【ポケット型】衣擦れの音なども入るため、寝たきりの状態の方などに使用します。上記の様に音の響きの緩和や目立ちにくさを取ると耳掛け式になり、操作の楽さ、手の動き方が緩慢な方には耳穴式といった選択の仕方になります。また耳カスや緩くベチャとしている、耳垂れの出る方などは故障しやすいですので耳掛け式で修理代が安価に抑える提案をしています。マスク生活では耳穴式補聴器の需要が増えています。実耳の機能にも拠りますので、どれも一長一短と言えます。

 **補聴器のラビット**
 埼玉県狭山市狭山台1-18-11 ☎04-2001-9144



ホワイトワックスガードの交換（耳垢防止）

※ホワイトワックスガード（ワックスガード標準品）はお客様による交換が可能です。

① 交換用キットのがま口部分を開け、棒を1本取り出します



交換用キットには8本入っています。



新しいホワイトワックスガード

取り外し側

② 補聴器についているホワイトワックスガードに、棒を軽く押しこみます



棒の取り外し側（新しいホワイトワックスガードが付いていない方）を補聴器のレシーバ孔（今付いているホワイトワックスガード）に軽く押しこみます。

③ 棒をまっすぐ引き抜きます



今付いている古いホワイトワックスガードと一緒に取れます。

④ 棒の反対側についている新しいワックスガードをまっすぐ差し込みます



奥までしっかり差し込んで棒をゆっくり引き抜くと、新しいワックスガードが補聴器に装着されます。

⑤ 完成です



取り外したホワイトワックスガードは、棒と一緒に廃棄してください。

※棒は再利用できませんので、使用后廃棄してください。
 ※ホワイトワックスガードと棒、交換用キットのケースはプラスチックを主体としています。自治体の分別ルールに従い廃棄してください。

今月も補聴器クリーニング致します

電話予約 04-2001-9144

（営業時間10時～17時） 定休日 木・日・祝

乾燥剤の色が変わったら、交換をお願い致します。

皆様の健康の為、充分な対策をとっていく所存です。お手数ですが、予約のご協力をよろしくお願い致します。